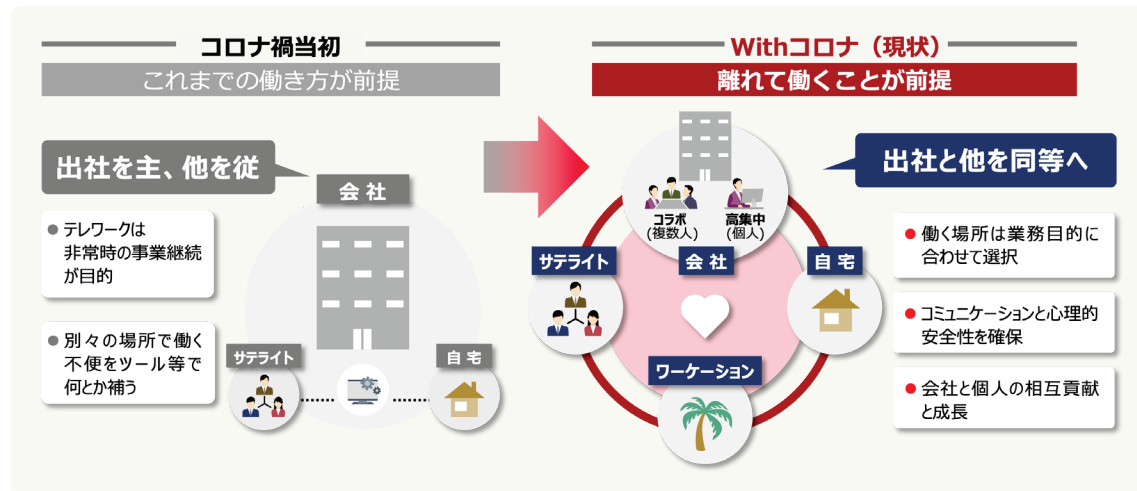


ハイブリッドワークにおけるコミュニケーション課題を解決
仮想オフィスがもたらすコミュニケーションの価値

コロナ禍当初は、リアルオフィスでの働き方が主流でした。しかし、Withコロナの現在は、離れて働くことが前提となっています。企業は、オフィス、自宅、サテライトだけにとどまらずワーケーションなどを使ったさまざまな働き方により、これまでとは異なる経営課題に直面しています。

日立ソリューションズ・クリエイトは、激変する経営課題を解決するため、さまざまな活動を行ってきましたが、特に社員幸福度向上に向けたテレワーク環境でのコミュニケーション課題の解決に注力してきました。

この資料では、当社がコミュニケーションの課題と向き合い試行錯誤した結果、自社開発に至った仮想オフィスについて、その経緯と成果についてご紹介します。



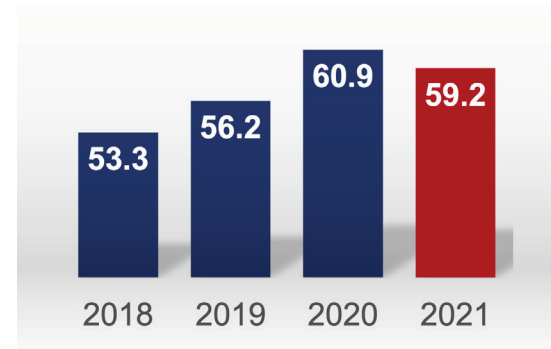
日立ソリューションズ・クリエイトは、

2019年から社員幸福度の意義を組織と社員に浸透、定着させる「Happiness大作戦!!」を3年計画で推進してきました。

「Happiness大作戦!!」の活動内容



成果



活動開始前の2018年度と比較して2020年度にかけて大きく肯定度が向上

※2021年度は、長引くコロナ禍の影響を受けつつも、本活動の成果がサーベイにも顕著に表れる

はじめに～全社運動による社員幸福度向上への取り組み

1 求められる経営環境の変化

- 1-1 アフターコロナで求められる経営環境の変化
- 1-2 リアルオフィスが提供している価値

2 ハイブリッドワークで発生したコミュニケーションの課題

- 2-1 当社変遷から探るコミュニケーション課題の本質
- 2-2 役職/役割別のコミュニケーション課題

3 従業員エンゲージメントが高い組織の秘訣

- 3-1 ハイブリッドワークでめざす組織の姿
 - コラム 日立ソリューションズ・クリエイトが考える『ハイブリッドワーク』
 - コラム 仮想オフィスでリアルオフィスと同等のコミュニケーションを実現
- 3-2 経営課題の解決に対応したハイブリッドワークで当社に得られる効果



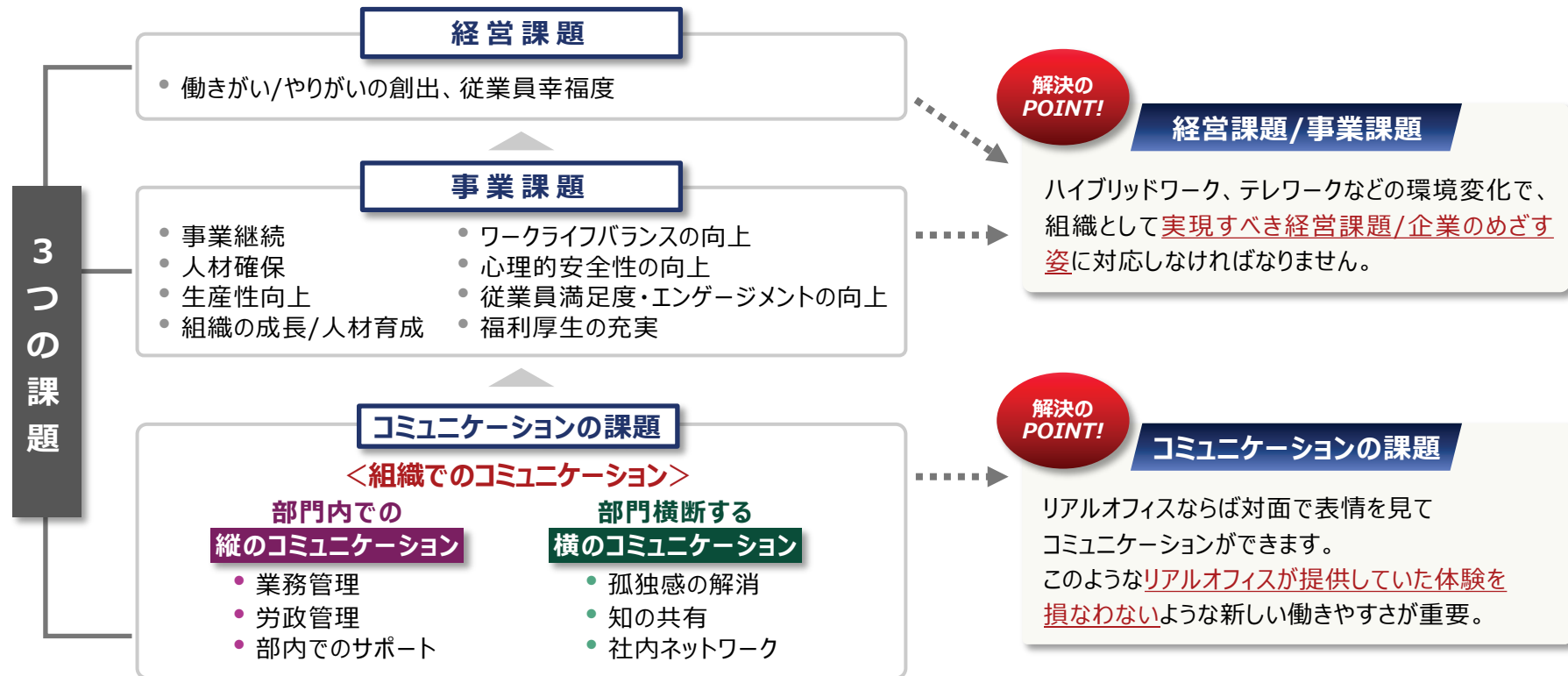
1 求められる経営環境の変化

1-1 アフターコロナで求められる経営環境の変化

1-2 リアルオフィスが提供している価値

1-1 アフターコロナで求められる経営環境の変化

従来から取り組んできた経営課題の解決には、ハイブリッドでもリアルオフィスの良さを損なわない解決策が必要になります。



1-2 リアルオフィスが提供している価値

リアルオフィスは、場の提供により「縦と横のコミュニケーション」という価値を提供していました。

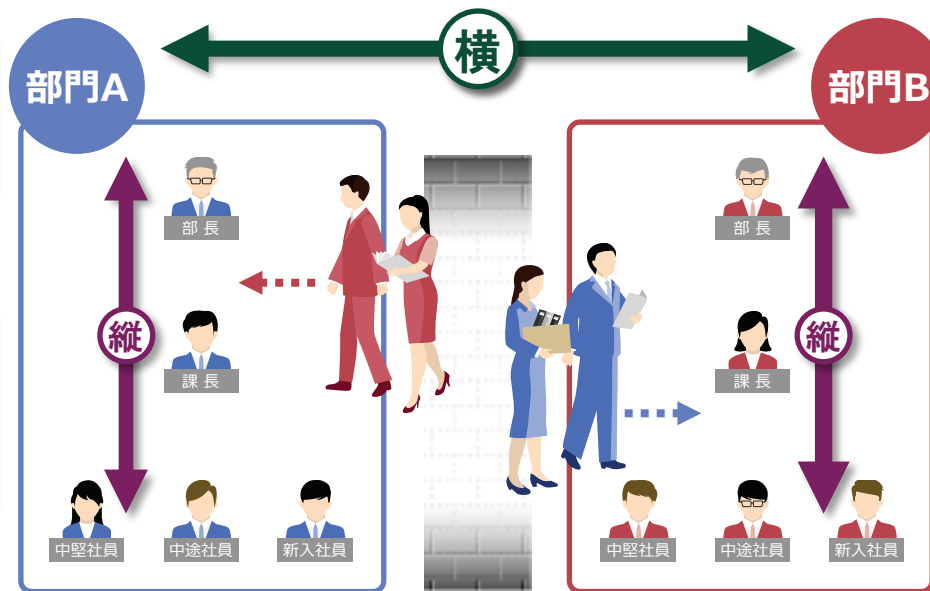
1 縦のコミュニケーション（部門内）

コミュニケーションの質

- 仕事を理解する
- 形式ばっていても問題なし

リアルオフィスが提供する体験

- 業務領域の会話以外にもモチベーションやメンタル不調などを顔を直接見ることに対応可能



2 横のコミュニケーション（部門横断）

コミュニケーションの質

- 人の理解を深める
- 部署間の接点により自然に生まれていた社内ネットワーク

リアルオフィスが提供する体験

- 共働空間の共有、偶発的な会話による心理的安全性の確保
- 部署を渡って、先輩、同期、後輩と成長に繋がる交流ができる



2 ハイブリッドワークで発生したコミュニケーションの課題

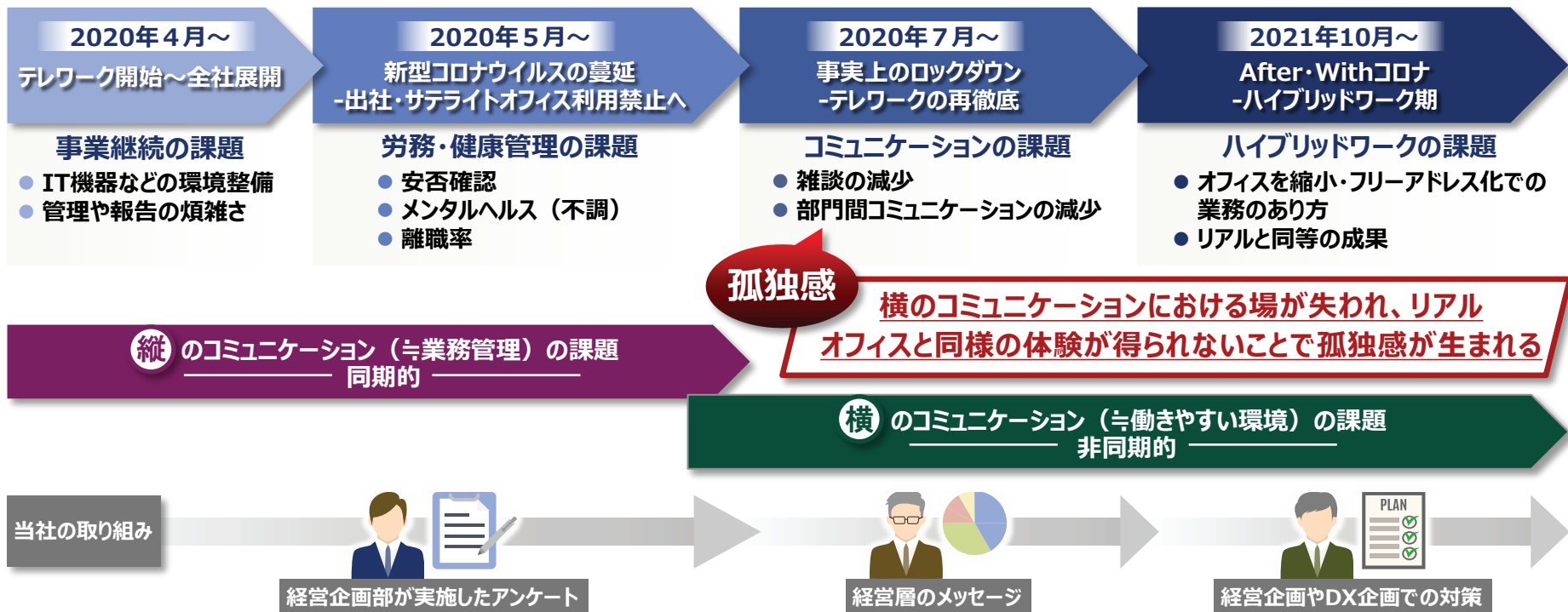
2-1 当社変遷から探るコミュニケーション課題の本質

2-2 役職/役割別のコミュニケーション課題

2-1 当社変遷から探るコミュニケーション課題の本質

コミュニケーションの課題は**漠然**としたものです。

当社は、「コミュニケーションの課題」の本質が「**横のコミュニケーションにおける場の不足**」であると考えました。



ハイブリッドワークでは、さまざまな立場や役職のコミュニケーションの課題を解決していくことが必要です。

マネジメント層における課題

（縦のコミュニケーション）

解決の
POINT!

- ✓ 業務管理
- ✓ 労務管理
- ✓ 部内でのサポート/部員の成長



経営

- 全社的な一体感が欲しい
- 家族のような一致団結できる組織にしたい



部長

- 部員の業務をサポートしてあげたい
- 顔色や表情、反応を見て気遣うことで労務事故を早期発見したい



課長

- 部員に対して業務の遂行に必要な人脈を紹介し業務をサポートしたい
- 部員が出社していない、遅刻、などの心配事があれば気づいてサポートしたい

プレーヤー層における課題

（横のコミュニケーション）

解決の
POINT!

- ✓ 孤独感の解消
- ✓ 知の共有
- ✓ 社内ネットワーク



中堅社員

- 社員同士のネットワークが強くなると業務のヒントや解決策が増える
- 多忙でコミュニケーションよりも業務を優先してしまう



中途社員

- 早く社内に馴染みたい、役に立ちたいという気持ちが強い
- 他の事業部が何をやっているのか、誰に何を聞けば良いかわからない



新入社員

- 同期同士活発にやり取りしている
- 顔と名前を社内で覚えられたい

3 従業員エンゲージメントが高い組織の秘訣

3-1 ハイブリッドワークでめざす組織の姿

コラム 日立ソリューションズ・クリエイトが考える『ハイブリッドワーク』

コラム 仮想オフィスでリアルオフィスと同等のコミュニケーションを実現

3-2 経営課題の解決に対応したハイブリッドワークで当社に得られる効果

3-1 ハイブリッドワークでめざす組織の姿

真に経営課題を解決するには、縦・横のコミュニケーション実現が重要となります。

経営課題

- 働きがい/やりがいの創出、従業員幸福度

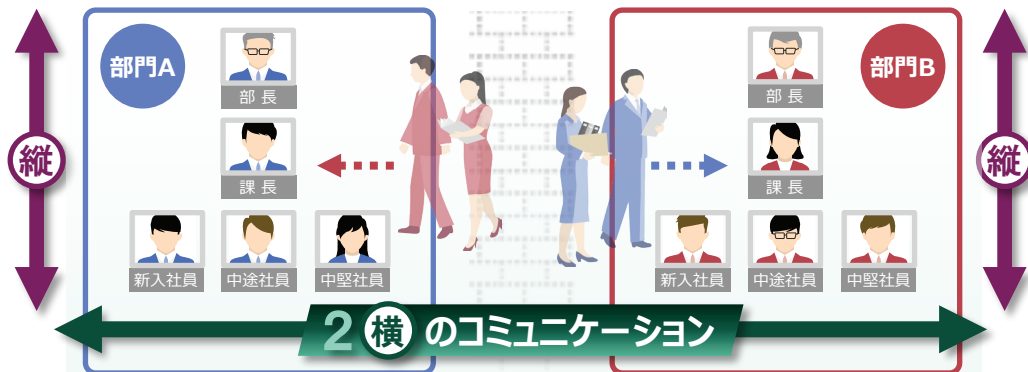
事業課題

- 事業継続
- 人材確保
- 生産性向上

- 組織の成長/人材育成
- ワークライフバランスの向上
- 心理的安全性の向上
- 従業員満足度・エンゲージメントの向上
- 福利厚生の実施

1 縦のコミュニケーション

業務領域はTeamsなどのツールのみでも解決可能



2 横のコミュニケーション

リアルオフィスがもたらす恩恵である
「同じフロアで働く仲間の顔が見える・部門を越えたコミュニケーション」
という体験は「横のコミュニケーション」の実現が課題

仮想オフィスで解決可能

※Microsoft Teams, Microsoft 365は、米国Microsoft Corporationの
米国およびその他の国における登録商標または商標です。

いつでも、どこでも “わくわく”を感じながら会社も人も成長していける働き方



①働き方の多様性

業務に合わせ、本人が働く場所や時間を選択できる環境の提供
(ワークライフバランス向上)



②成長の実感

- ・離れていても、個人～組織の「知」を共有し、生産性を向上
- ・個人～組織の成長が実感できる仕掛け作り



③組織間の コラボレーション

社内外の人材がスムーズに
コラボレーションを図り、
コミュニケーションを行う



④事業拡大に向けた 成果創出

- ・環境によらず、成果を創出できる仕組み作り
- ・時間より成果を軸にした管理



⑤安心感の実現

- ・離れていてもツナガリ、
強固な信頼関係を構築
- ・安心・集中できる環境の提供



⑥プライベートへの 配慮と仕事の両立

公私事情を相互配慮した
プライベート時間と仕事時間の
融合



⑦個人の能力開発 人財確保

個人の能力の把握、向上に
向けたフィードバック機会の
提供を加速



⑧組織の生産性向上

- ・ムダ・ムラを排除し、
必要な仕事を効率的に行う
- ・オフィス他、資源の有効活用

日立ソリューションズ・クリエイトは
わくわくと成長を支える8つのエンジンを
ITとソリューションで解決していきます

「仮想オフィスサービス」は、8つのエンジンのうち「働き方の多様性」、「組織間のコラボレーション」と「安心感の実現」をサポートします。

日立ソリューションズ・クリエイト社内では、Teamsを『業務ツール』として位置づけ、業務に必要なリアルタイムコミュニケーションに活用する一方で、『仮想オフィス』を『リアルオフィス』の代替えとして、横のコミュニケーションを提供する場として活用しています。

安心感

- 「オフィスマップ」はまるで出社しているかのようにリアルオフィスを疑似体験
- 相手の顔や様子が見える安心感を醸成

オフィスマップ

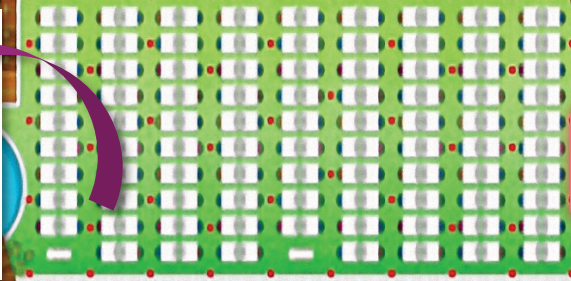
チームボード

- 掲示板やチャットなどを備えた「チームボード」でチームのコミュニケーションを深化

一体感

コメント

雑談ルーム



- 「座席予約」「座席位置確認」「出社確認」などで、いつでも仲間に会えるコミュニケーションを実現

いつでも

気軽さ

- 着席している従業員の「コメント」、「出勤状況」、「体調」などを簡単に確認可能
- 「雑談ルーム」で気軽なコミュニケーションを実現

連携

- 「Teams連携」で業務管理ともシームレスに連携

『場のコミュニケーション』を解決するため社員が工夫して利用していて、**自発的に**以下のようなフロアマップを作成して活用しています。

- 新人のみのフロア
- 開発の進捗管理プロジェクトフロア
- 庶務担当者フロアでの質問
- 労働組合専用フロアでのお悩み相談

3-2 経営課題の解決に対応したハイブリッドワークで当社に得られる効果

縦・横のコミュニケーションを実現したハイブリッドワークなら、経営課題解決のほかにもさまざまな効果が期待できます。

社内サーベイによる改善指標



- 従業員のQOL（生活の質）
- 孤独感の解消
- 偶発的なコミュニケーションの発生
- 従業員エンゲージメントの改善
- 成長実感の向上

28%向上



コストの削減

- オフィス賃貸費用を **1/3** に削減
- 在宅勤務者の交通費の削減

※仮想オフィス導入によりフロア削減を決断することによる効果



プレゼンスの向上

- 新卒就職人気企業ランキング **3** 年連続順位アップ
- 多様な働き方の実現
- 罹病率の減少



お問い合わせ

本資料の詳細、その他ハイブリッドワークの取り組み、ハイブリッドワークに求められる新たなソリューションなどについて、ご紹介させていただきます。この機会にぜひお問い合わせください。

こんな方にも

- 本資料に記載されている事例について詳しく聞きたい
- 本資料に記載されているような課題を解決するためのアプリケーション情報を知りたい
- 資料に記載されている以外に、解決できる課題を知りたい

WEB問い合わせの URL

https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/virtual_office

メールによる受付

hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com

ご相談、ご依頼いただいた内容は、回答などのため、当社の関連会社（日立ソリューションズグループ会社）および株式会社日立製作所に提供（共同利用含む）することがあります。取り扱いには充分注意し、お客さまの許可なく他の目的に使用することはありません。